

# うちこしレポート



うちこし基安 事務所 〒811-1302 福岡市南区井尻4-3-49(西鉄井尻駅交番前)  
TEL092-589-3600 FAX092-589-3636 Eメールm@uchikoshi.info サイトhttp://www.uchikoshi.info/

福岡市議会議員(南区)  
うちこし 基安

## 暑中お見舞い申し上げます

2013年7月号

### 市議会議員として10年の 表彰状と感謝状を頂きました。

### —皆さんのお陰です

私：うちこしは市議会議員として10年を迎え、6月定例会議の議場で、全国市議会議長会からの表彰状と福岡市からの感謝



福岡市の高島宗一郎市長から  
感謝状を授与



状を頂きました。これもひとへに私を支えて頂きましたみな様のお陰です。この場を持ちまして御礼申し上げます。



福岡市議会の森英廣議長から  
表彰状を授与



10年という議員生活は、思い通りにならないことが多く、「今日のガマンが明日を呼ぶ」の忍耐力を養った10年間でもありません。これからは、この経験を活かして、政策実現力でみな様にお返しする「一道十年」にしたいと思えます。

差し当たり十年一道を歩んできたと思えますので、一応の土台はできたと自負しております。これからの政治家は、まず支援者の方々に「感謝」を忘れず、相手を思いやる「仁」、利他の心の「義」、思いやりを行動する「礼」、相手を信頼する「信」、知識の「智」を持ち合わせた落ち着いたある物腰が求められます。

「低く座し、高く考える」という姿勢を持ち続け、政治に正面から「一時一事」の心がまえで、為すべきことに即着手し、仕事をしたいです。

今後とも、みな様のご指導・ご鞭撻ならびにご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 風しん予防接種事業の お知らせ

平成25年6月議会で、自由民主党福岡市議団を代表して、私・うちこしが、福岡市の風しん対策について質問しました。これを受けて、福岡市議会の自民・公明・みらい福岡の3会派は7月1日、「風しん予防ワクチン接種の公費助成を求める緊急要望書」を高島市長に提出。福岡市は22日から、市独自の予防接種事業を始めました。

市内在住で妊娠を希望する成人女性と妊婦の夫が対象で、いずれも抗体検査でウイルスへの免疫が十分でないこととされたことが条件です。通常は1万円前後かかりますが、5000円の自己負担で受けることができます。助成は来年3月末までの期間限定。接種希望者は、市のホームページに掲載されている対象病院を選んで予約する仕組みとなっています。抗体検査も対象を妊婦の夫まで拡大、毎月2回（10月以降は1回）市内全区の保健所で受けられます。

問い合わせは保健予防課

☎092(711)4270



6月議会報告

# 自治協議会制度で役員の人件費補助や生活道路整備でも踏み込んだ手法を要望

うちこしは平成25年6月議会（6月21日）で、自由民主党福岡市議団を代表して質問に立ち、①福岡市の風しん対策②南区における鉄道の導入③コミュニティ自治組織のあり方④大都市における高齢化の課題⑤生活道路の改善の5点について福岡市の考え方を問い質しました。同時に、早期実現が望まれるものは、強く要望しました。

## 南区における鉄道の導入 地下鉄にこだわらず幅広い 検討を要望

福岡市で2番目の人口を有する南区は、西鉄大牟田線はあるものの鉄道利用が不便な地域が残されています。

今後、高齢社会の進展により、公共交通の重要性が高まってまいります。私は利便性や安全性から鉄道の導入を望ましいと考えています。

福岡市は、南区の公共交通はバスが重要な役割を担っており、鉄道の導入には事業採算性や導入空間の確保といった課

題があるとしています。

しかし、6月に広島市の新交通システム（ラストラムライン）を視察しました（参照14頁）。ラストラムライン視察報告が、他の都市には他にも富山市のLR T（ライトレールトランジット）をはじめ鉄道の導入の様々な事例があります。

地下鉄にこだわらず幅広く検討し、できるだけ早く実現するように要望しました。

## コミュニティ自治組織のあり方 10年目の制度見直しで役員 の人件費部分も補助対象に

町世話人制度から自治協議会制度に移行して、こししが10年目になります。地域は行政のパートナーとして位置づけられ、地域が自ら地域の課題に取り組むことで、自治活動も活発になってきました。一方で、地域を支える自治会長や町内会長は高齢者の方が多く、いくつもの役員を兼ねるなど負担が大きく、後継者がなかなか見つからない

という話をよく聞きます。

町世話人時代は、行政からの依頼業務を行う特別職公務員としての報酬がありました。現在は福岡市からの直接の担当は出ていません。地域の担い手不足が深刻な課題となっている理由の一つには、実際に活動しておられる役員の方々の金銭的負担もあるのではないのでしょうか。そういう観点から、福岡市の考え方を問い質し、役員の人件費部分についても補助対象として認めることを要望しました。

Q 福岡市の自治会長や町内会長の平均年齢および1カ月あたりの活動日数、町世話人制度であった時代と現在の福岡市の地域コミュニティに対する費用はどうか？

A 平成22年度の自治協議会・自治会等のアンケート（対象者2278人）によると、平均年齢は67.5歳、1カ月あたり平均10.4日活動に従事。平成15年度当時の「コミュニティの自律経営推進」にかかる決算額は、コミュニティ関連の職員人件費を

含め約16億6200万円、これに対応する平成25年度の予算額は約13億2600万円。

Q 自治会長や町内会長の金銭的負担についての認識と役員手当はどうなっているのか？

A 各自治会・町内会の会長手当での有無や金額は、それぞれの団体が規約等で決めており、町内会費から捻出。前述のアンケートによると、会長手当での平均年額は約8万円。市の主催行事への参加に必要な交通費等の活動費については費用弁償を行うように通知している。

福岡市は地域活動への補助金は各自治会・町内会ではなく、校区単位の自治協議会に交付。平成21年度に自治協議会への補助額を増額し、自治協議会役員（活動費（交通費等）を補助対象とするなど見直ししたが、手当て（人件費分）は補助対象外としている。「自治協議会は行政の下請けではない」という考えから各自治協議会の会長等もメンバーである「福岡市コミュニティ関連施策のあり方に関する検討会」による提言（平成19年10月）で、補助対象とすべきでないと言われた。

Q いまの位置付けでは、人材的にも適任者の人選が困難となり、継続性も担保できなくなることを危惧する。福岡都市圏





のいくつかの市においては、校区単位や各町内会等への補助金を役員手当に充当することが認められている。自治協議会の補助金については、役員の人件費分についても補助対象として認めることなどの検討を要望する。

A 地域がそれぞれの課題に、主体的に取り組んでいけるような仕組みづくりは必要であり、単位自治会・町内会活動の支援等についても検討していく。

**生活道路の改善  
狭あい道路の改善は  
踏み込んだ整備手法で**

市民生活と密接に関連する生活道路の改善、特に狭あいな道路については、日常生活においても車の離合やごみの収集作業に支障をきたし、通学路をはじめ、歩行者などの交通弱者が危険にさらされるなど安全で安心な暮らしを願う市民にとって、大きな障害となっています。

福岡市によると、平成24年4月1日現在で、幅員4m未満の道路延長は約7.35kmで、平成17年から23年までの狭あい道路のべ整備延長は約17.7kmです。その整備は寄付が前提で、市民の理解と協力がなくしてはなかなか進みません。

だ整備手法が必要で、福岡市は「寄付を原則としながらも借地による整備についても検討す

**今年度はまちづくり計画の骨子づくりに取り組みます**

**井尻地区まちづくり期成会**

「井尻地区まちづくり期成会」は平成25年度、まちづくり計画の骨子づくりに取り組みます。まさに一番大切であり、大変な作業に入っています。そこで、4月25日の総会で新しいメンバーを加え、組織体制を強化いたしました。

**ワークショップで、井尻の  
将来像について意見交換**

今年度の最初の活動として、6月5日と6月27日の2回に分けて、井尻4丁目公会館で、井尻地区の将来像について意見交換するワークショップを開催しました。期成会の役員の方々に加えて、まちづくりコンサルタント

る」とし、交差点部のすみ切りの改良についても、用地買収による整備を行っており、今後は整備効果の高い場所を選定し、すみ切りの改良に取り組むとしております。

トの方、福岡市役所の皆さんにも参加していただき、約30人が、4班に分かれて、率直な意見を出し合いました。

初回の6月5日のフリートキングでは、「井尻地区の鉄道高架化にあわせて、駅前広場をつくって、タクシーやバスの停車場が欲しい」「駅前にパークアンドライド用駐車場が欲しい」「井尻駅を南側に移したい」とい

た井尻駅周辺の改善に関することや、「井尻のシンボル」として、地元の人が多く集まる商店街にしたい」「笹原駅、井尻駅間の道路を広げて、両側に商店街をつくりたい」といった商店街に関する意見、「救急車や消防車が通れるように道幅を広くしたい」「地域の方々が気軽に集まれる交流の場所や、託児所などが欲しい」「上池をもっと活用したい」など幅広い意見が出ました。それらを各班が、まちづくりの合い言葉(キャッチフレーズ)としてまとめました。

**まちづくりのキャッチフレーズをまとめる**

そのキャッチフレーズが、「井尻駅と笹原駅を結んでもっと快適に」「こじやれた幼老共生のまち」「安心して子育てができる街」「2つの駅を安全・快適に利用できるまち。井尻」でした。とてもユニークなものから、なるほどと思えるものもあり、とても有意義な時間となりました。

2回目の6月27日は、初回の意見を踏まえて、実際に地図を広げて、絵を描きました。ここでも色々な意見が出て、一つの絵にまとめる作業は大変でしたが役員の方々の熱い思いを改めて認識させていただきました。今後は、期成会の役員だけでなく、地域の皆さんにも広く意見を聴きながら、地域の考えをまとめることになると思います。

**駅周辺の土地区画整理事業を視察**

3回目は、7月22日に事例視察に行きました。過去に駅周辺で土地区画整理事業を行った姪浜地区土地区画整理事業と現在、事業を行っている香椎地区土地区画整理事業の現地を見て勉強しました。



ワークショップで発表する私・うちこし



班ごとに分かれてのフリートキング(上、下)





## 南区の鉄軌道の参考にしよう、広島市の新交通システム(アストラムライン)を視察しました

福岡市南区は大量輸送を担う鉄軌道として、西鉄大牟田線が南北に走っています。今後、自動車を運転できない高齢者には公共交通機関が重要となり、南区を東西に結ぶ公共交通ネットワークとして鉄軌道の整備が期待されます。

一方で、福岡市の厳しい財政状況から、より低廉な公共交通機関の導入を検討することが求められています。今後、南区における検討の参考にするため、6月3日、南区選出の自民党福岡市議団の仲間とともに広島市の新交通システム(アストラムライン)を視察してきました。



車両基地で車両の説明を受ける

5年で完成しました。同時に、導入空間である国道や都市計画道路も整備されています。その結果、約1744億円という多大な費用が掛かりました。しかしながら、福岡市営地下鉄の1km当たり建設費の半分以下です。

運行区間は本通駅〜広城公園前駅間の18.4km(所用時間約35分)で、都心部の1.9kmが地下区間、残りは地上のモノレールです。全21駅(平均駅間距離920m)で、経営主体は第三セクターの広島高速交通。利用者は平成24年度実績で、1日あたり約5万2000人で、当初利用者見込みの6万9000人に対し、約76%となっています。郊外部でバス路線のフィードバックも実施されましたが、広島高



車両から軌道を臨む

速の開通に合わせた都心直行バスの運行などで、利用者数は伸び悩みましたが、沿線人口の増加もあり、増加傾向にあります。

アストラムラインは沿線人口の増加や渋滞緩和といった効果をもたらしており、鉄軌道公共交通機関の整備がまちづくりに与える影響の大きさを感じました。一方、導入空間として道路整備も同時に実施されており、鉄軌道整備費用以外にも多大な事業費が必要となることも認識しました。また、地下鉄区間の事業費負担が運営主体の経営上の大きな負担となっていることから、初期投資を抑えることの重要性を確認しました。



新交通システムの説明を受ける

## 今年も花見で盛り上がりました

うちこし会のお花見を今年も3月27日(水)11時から、警弥郷橋近くのホタル公園で行いました。



当日の朝は小雨が降り続き、お花見の開催が危ぶまれましたが、開始時間には雨も上がり、約100人の方に参加して頂きました。桜の下での宴は今年も盛り上がりました。花見弁当を膝の上に、片手にはお酒があり、皆さんと終始笑い語らいあつたひと時でした。

つわぶき会の方々の手による豚汁もあつという間になくなりました。まさに、愛情を添えたひと品でした。また来年も一緒に桜を愛でましょう。ご参加お待ちしております。

## 今年も「どんたく」に参加!



左から1福岡県議会議員のかね井雄氏、南区長の中村隆雄氏と私、うちこし

## ご意見およびご要望をお寄せください!

- ご連絡先
- 福岡市議会自由民主党控室  
TEL092-711-4722 FAX092-741-4874
- うちこし基安 事務所  
福岡市南区井尻 4-3-49(西鉄井尻駅交番前)  
TEL092-589-3600 FAX092-589-3636  
Eメール m@uchikoshi.info  
サイト <http://www.uchikoshi.info/>  
どうぞ、お気軽にお立ち寄りください!

